感動をデザインします
**TWINBIRD**

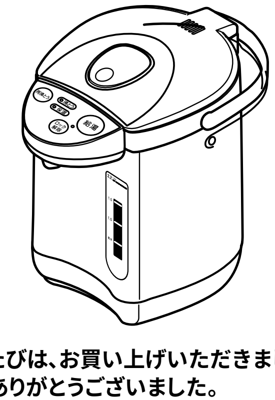
pdf版

家 庭 用

湯沸かし専用

電動給湯ポット

# TP-4491
# 取扱説明書



■このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
■この取扱説明書をよく読んでから使用してください。
不適切な取扱いは事故につながります。
■この取扱説明書は必ず保管してください。

RX0607A

● もくじ


安全上のご注意 ･････････････ 1･2
各部の名称とはたらき ････････ 3･4
使いかた ･････････････････････ 4･5
お手入れのしかた ･････････････ 6
こんなときは ･･････････････････ 7
アフターサービス
仕　様 ･･････････････ 8


# ご使用上のご注意


ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。
この資料並びにコンテンツは、著作権法等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記に記載されている条件でのみ利用することができます。

1 .お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、使用することができます。

2 .お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示及び使用条件を一緒に付す必要があります。

3 .お客様は、この資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社及び当社の関係会社は、お客様に対して、この資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権及びその他の知的財産権をライセンスするものではありません。ならびに資料並びにコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。
またこの資料並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権表示、使用条件を厳守する必要があります。


※このコンテンツはＷｅｂ上で使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書とは同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

※この資料並びにコンテンツに保証書は掲載しておりません。

※この資料並びにコンテンツに記載されている内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

※デザイン､仕様等は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

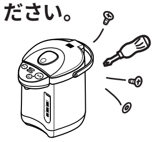
# 安全上のご注意 必ずお守りください。

**お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**

## ⚠警　告

分解禁止

**修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。**



発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

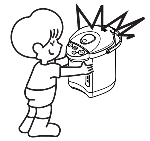
水ぬれ禁止

**本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。**

ショート・感電の恐れがあります。

禁　止

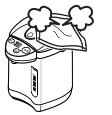
**子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。**



けがをする恐れがあり危険です。

禁　止

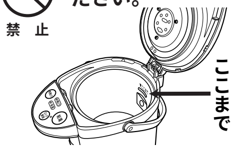
**使用中、ふきんなどで蒸気口などをふさがないでください。**



湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。

禁　止

**満水目盛以上の水を入れないでください。**




湯がふきこぼれやけどの恐れがあります。

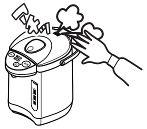
強　制

**電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。**

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

接触禁止

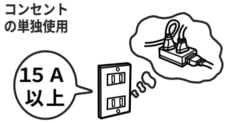
**蒸気口に手をかざしたり、触れたりしないでください。**



やけどをすることがあります。特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。

コンセントの単独使用

**定格 15A以上・交流 100Vのコンセントを単独で使ってください。**




他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。また、火災・感電の原因になります。

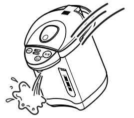
禁　止

**抱きかかえたり、フタを持って移動したり、傾けたり、ゆすったりしないでください。**

湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

禁　止

**転倒させないでください。**



湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

禁　止

**ふたは勢いよく閉めないでください。**

湯がふきこぼれやけどの恐れがあります。

強　制

**湯沸かし中はフタをあけたり、給湯したり、湯を注がないでください。**

たくさんの蒸気が出たり、湯が飛び散り、やけどの原因になります。



## ⚠警　告

強　制

**電源プラグやマグネットプラグなどに金属やほこりなどのゴミが付着したときは、よく拭いてください。**

感電・ショート・発火の原因になります。

接触禁止

**湯沸かし中、湯沸かし後しばらくは、本体など高温部に触れないでください。**

やけどの原因になります。

ぬれ手禁止

**電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。**

感電の原因になります。

禁　止

**電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。**

感電・漏電火災の原因になります。

禁　止

**電源コードや電源プラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。**

感電・ショート・発火の原因になります。

禁　止

**氷を入れて保冷用に使わないでください。**

結露が生じ、感電、故障の恐れがあります。

禁　止

**水以外（牛乳、酒、お茶類）のものを入れて使わないでください。**

お茶・牛乳・酒などは沸きあがるときにふき出して、やけどの原因になったり、焦げつきや腐食による感電の原因になります。

強　制

**お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**

感電やショートして発火することがあります。

## ⚠注　意

禁　止

**不安定な場所や熱に弱い敷物の上、壁やカーテン・火気の近くでは使用しないでください。**

火災の原因になります。

禁　止

**壁や家具の近くで使わないでください。**

蒸気または熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因になります。

接触禁止

**フタを開けるときにでる蒸気に触れないでください。**

やけどの原因になります。

禁　止

**給湯中に本体を回さないでください。**

お湯が飛び散り、やけどをする恐れがあります。

強　制

**お手入れは冷めてから行ってください。**

高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

プラグを抜く

**使用時以外は、電源コードを取りはずしてください。**

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

プラグを持って抜く

**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。**

感電やショートして発火することがあります。

禁　止

**水のかかるところや、火気の近くでは使用しないでください。**

感電や漏電の原因になります。

禁　止

**湯沸かし直後はフタを開けないでください。**

たくさんの蒸気が出て危険です。

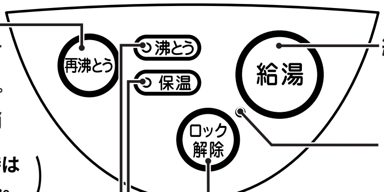
禁　止

**空だきをしないでください。**

容器の熱変色など故障の原因になります。

# 各部の名称とはたらき

## 操 作 部




**再沸とうボタン**
保温中の湯を再び沸かすときに使います。
もう一度押すと保温ランプが点灯し再沸とうを取消すことができます。
（ただし、水からの沸とう時は取消すことができません。）

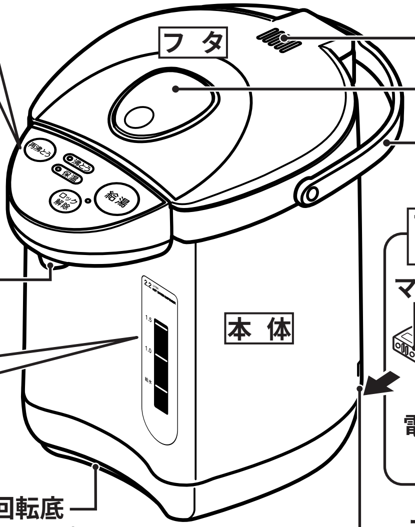
**沸とうランプ**
湯沸かし中に点灯します。

**保温ランプ**
保温中に点灯します。
湯沸かしが完了すると点灯します。

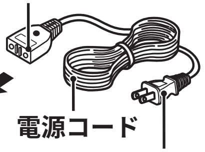
**給湯ボタン**
ロック解除ランプが点灯している間だけボタンを押すと給湯できます。

**ロック解除ランプ**
ランプが点灯している間だけ給湯できます。

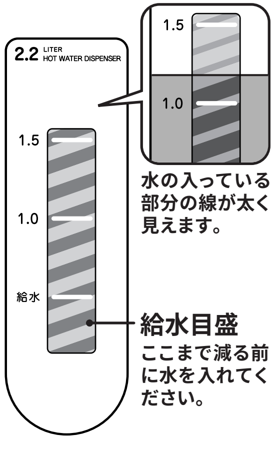
**ロック解除ボタン**
ボタンを押すと、ロック解除ランプが点灯し、お湯が注げるようになります。
もう一度押すと解除ランプが消灯し、給湯できなくなります。
約 10秒後にロック解除ランプが消灯し、給湯できなくなります。




**マグネットプラグコード**

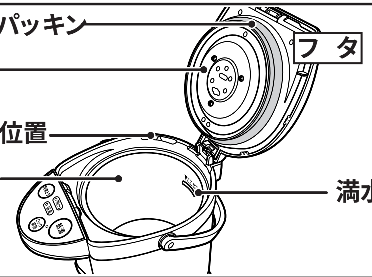



## 水位表示部




水の入っている部分の線が太く見えます。

**給水目盛**
ここまで減る前に水を入れてください。

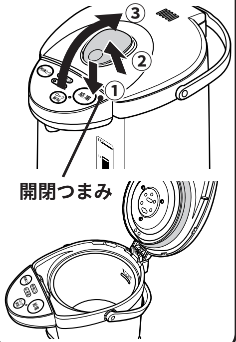





● フタを取扱う際は、誤って給湯ボタンを押す恐れがありますので、電源プラグを抜いてから行ってください。

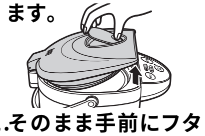
### フタの開けかた

フタの開閉つまみのくぼみを押して引き上げ、フタを開けます。

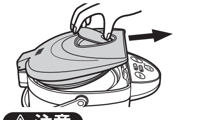



### フタのはずしかた

1.開閉つまみを押してフタを少し持ち上げます。



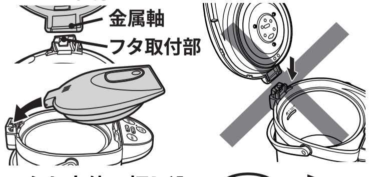
2.そのまま手前にフタを引っ張り、フタをはずしてください。



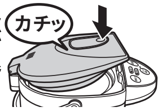
⚠注意
必ずフタが冷めてから行ってください。

### フタの取付けかた

1.フタ裏面の金属軸をフタ取付部に斜め前方から差し込みます。フタを立てた状態では取付けられません。




2.フタを本体に押し込みます。「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

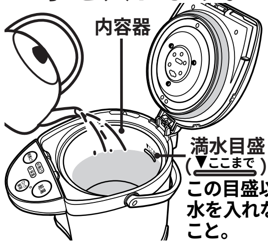



お願い
取付後、フタが確実に取付けられていることを確認してください。

# 使いかた

初めてお使いになるときや、長期間お使いにならなかった場合は、一度湯を沸かし、ロック解除して「給湯」キーを押した後、残り湯を捨ててからご使用ください。また、使い始めはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

## 1.水を入れます。




この目盛以上、水を入れないこと。

① フタを開けます。
② やかんなどを使って内容器に水を入れます。

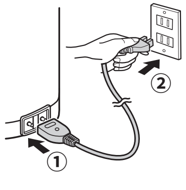
⚠注意
必ず満水目盛以下でお使いください。
入れ過ぎると湯沸かし中に注ぎ口からお湯がこぼれたり、沸とうしたときに蒸気口からお湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。また、給湯の際「給湯」ボタンから手を離しても給湯が止まらないことがあります。

③ フタを「カチッ」と音がするまで確実に閉めてください。

⚠注意
フタが確実にしまっていないと倒したときに熱湯がこぼれたりして大変危険です。

お願い
● 水道の蛇口から直接水を入れないでください。
● 給水目盛以下で使用しないでください。給水目盛以下になると、空だきになったりして、故障の原因になります。
● 給水目盛付近まで、水位が下がると安全装置が働き、ランプがすべて消えることがありますが、水をつぎ足してしばらくすると使用できるようになります。
● 本体・操作表示部・水位表示部に水をかけないでください。感電や故障の原因になります。
● フタを開閉するときに「カラカラ」と音がするときがありますが、万一転倒した場合にお湯の流出を防止するための弁の音ですので、異常ではありません。

## 2.コードを接続します。

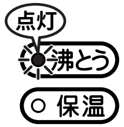



① マグネットプラグを本体プラグ差込み口に接続します。
② 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

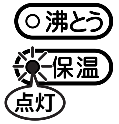
⚠注意
● 湯沸かし直後はフタを開けないでください。たくさんの蒸気が出て危険です。
● 湯沸かし中は給湯しないでください。お湯が飛び散り、やけどをする恐れがあります。
● 蒸気口をふきんなどでふさがないでください。湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

## 3.沸とう、保温

■ 沸とう中




■ 保温中




湯沸かしが終わるまでの時間

| |
|---|
| 約 26分 |

（室温、水温 25℃、満水の場合）

お湯が沸くと「沸とう」ランプが消え、「保温」ランプが点灯し、保温を開始します。

**お願い**

保温中にお湯が少なくなったら、水をつぎ足してください。この際、自動的に湯沸かしを始めますが、つぎ足す水の量が少ないと沸とうしない場合があります。その場合は「再沸とう」ボタンを押してください。

**⚠ 注意**

- 水をつぎ足す場合、蒸気に注意してください。やけどの恐れがあります。
- フタは勢いよく閉めないでください。湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

## 4.お湯を注ぎます。

「ロック解除」ボタンを押します。
「ロック解除ランプ」が点灯し、湯が注げる状態になります。
もう一度「ロック解除ボタン」を押すと「ロック解除ランプ」が消灯して、給湯できなくなります。

「給湯」ボタンを押し、湯を注ぎます。
「給湯」ボタンから手を離すと約 10秒後に「ロック解除ランプ」が消え、自動給湯ロックがかかります。
（注がないときも約 10秒後にロックがかかります。）

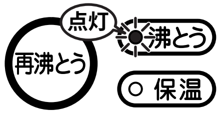
**お願い**

- マグネットプラグをはずすと、給湯ができません。
- 「ロック解除ランプ」が消えているときは、お湯はでません。
- 1杯目のお湯は、ぬるくなることがあります。
- 沸とう後しばらくはお湯が出にくくなることがあります。

**⚠ 注意**

- 注ぐときに本体が回らないように注意してください。お湯がこぼれて、やけどをする恐れがあります。
- お湯が少なくなると、注ぐときにお湯が勢いよく出ることがありますのでご注意ください。

■ 再沸とう（保温中のお湯を再び沸かすとき）




「再沸とう」ボタンを押します。
「沸とうランプ」が点灯します。
再沸とうが終わると「沸とうランプ」が消灯し、「保温ランプ」が点灯します。
● 再沸とう完了までの時間は約 6分です。

**お願い**

再沸とうさせるときは、給水目盛以上のお湯が入っていることを確かめてから「再沸とうボタン」を押してください。

再沸とう時にもう一度「再沸とう」ボタンを押すと再沸とうを取消すことができます。
（ただし、水からの沸とう時は取消すことができません。）

**⚠ 注意**

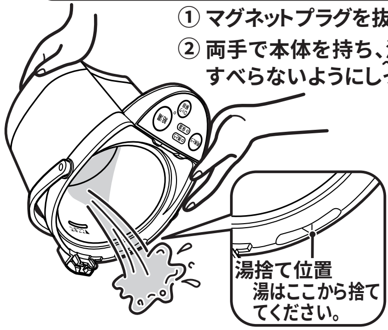
最後まで給湯したあと、少量の湯が内容器内に残りますが、空だきを防止するため異常ではありません。湯沸かしおよび保温中は本体が熱くなりますので注意してください。

## 5.ご使用後は

**お願い**

必ず残り湯を捨ててください。 残り湯を放置すると内容器の変色や腐食の原因になります。

① マグネットプラグを抜き、フタをはずします。
② 両手で本体を持ち、湯すて位置の方向から残り湯を捨てます。本体を持つ際にすべらないようにしっかりと持ってください。




**⚠ 注意**

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電やけがをする恐れがあります。
- フタは必ずはずしてお湯を捨ててください。フタがはずれてやけどをする恐れがあります。
- 手などにお湯がかからないよう注意してください。やけどの原因になります。
- 操作部やハンドル、プラグ差込口、フタ取付部にお湯がかからないように注意してください。やけどや故障の原因になります。



# お手入れのしかた

**電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてからお手入れをしてください。**

- 日常、こまめにお手入れをしてください。
- 長く使用していると内容器に水アカや白い浮遊物などが付着します。
- 汚れが落ちにくいときは、クエン酸洗浄をおすすめします。

**お願い**

- 食器洗い乾燥機や食器乾燥機を使わないでください。変形の原因になります。
- 洗剤を使わないでください。
- 内容器の汚れ（水アカなど）はこまめにお手入れしてください。汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。
- 長期間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてください。

**⚠ 注意**

製品の丸洗いはしないでください。

感電事故の原因になります。

シンナー・ベンジン・クレンザー・たわしなどを使わないでください。

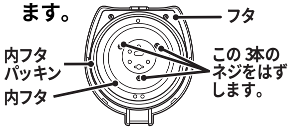
### フタ・本体外面

必ず、よく絞った布でふき取ってください。

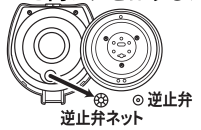
### 内フタ

内フタパッキンは消耗品です。
フタのすき間から蒸気がもれだしたら、新しい内フタパッキンと交換（有償）してください。交換の際は、製品の型名をご確認の上、お買い求めの販売店か、当社「お客様サービス係」までお求めください。

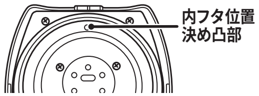
① 内フタの 3本のネジをはずします。




② パッキンと内フタをはずした状態。




③ 組み立てるときはフタの位置決め凸部を合わせます。




### 内容器

ぬれたスポンジなどでふき、水を入れてすすぎます。

**内容器の色むら、変色、水ゆ浮遊物について**

水に含まれるミネラル分（カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、鉄など）の作用により、内容器に赤い斑点（もらいさび）・乳白色・黒色などの汚れが付着する場合がありますが、内容器自体の変色・腐食ではありません。
衛生上の問題はありませんが、汚れが目立ってきたらこまめにお手入れをしてください。

やわらかいスポンジでこすり、よくしぼった布でふきとってください。汚れが落ちにくい場合は、やわらかいスポンジに台所用中性洗剤をつけてこすり、その後充分に水洗いをして、よくしぼった布でふきとってください。

**お願い**

- 長期間、お手入れをしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなりますので、こまめにお手入れをしてください。
- アルカリイオン水をご使用になる場合は内容器にカルシウムが付着しやすくなります。

**汚れのひどいときは**

汚れのひどいときやお湯が出にくくなったときは、電気ポット内容器洗浄用クエン酸を使用して下記の手順でお手入れします。
電気ポット内容器洗浄用クエン酸は、市販品をお求めください。

① 内容器に満水目盛まで水を入れて、クエン酸を約 30g入れます。
② フタを閉めてお湯を沸かした後、約 1時間「保温」します。
③「給湯ボタン」を押し、カップ 1～ 2杯程度お湯を出します。 これでお湯の通路やポンプ内も洗浄できます。
④ クエン酸の入ったお湯を捨て、ぬれたスポンジなどでこすってすすぎます。
⑤ クエン酸の臭いを取るために、満水目盛まで水を入れてお湯を沸かします。
⑥「給湯ボタン」を押し、カップ 1～ 2杯程度お湯を出します。お湯の通路やポンプ内をすすぎます。
⑦ お湯を全部捨てます。

# こんなときは

修理・サービスをお申しつけになる前に下記の点をお調べください。

| こんなときは | 調べるところ | 処置 |
|---|---|---|
| お湯がわかない。（「沸とうランプ」が点灯しない。） | 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか? | 電源プラグをコンセントに差し込んでください。 |
| | マグネットプラグの先端に金属片やゴミなどがついていませんか? | 電源プラグを抜いてからマグネットプラグの先端を掃除してください。 |
| | 空だきをしませんでしたか? | 空だきをするとランプがすべて消えますが、しばらくすると使用できるようになります。 |
| お湯が出ない。出にくい。 | 自動給湯ロックになっていませんか? | 「ロック解除ボタン」を押してから「給湯」ボタンを押してください。 |
| | プラグがはずれていませんか? | プラグを差し込んでください。 |
| | マグネットプラグの先端に金属片やゴミなどがついていませんか? | 電源プラグを抜いてからマグネットプラグの先端を掃除してください。 |
| | 内容器に水あかなどがついていませんか? | 内容器のお手入れをしてください。(「お手入れのしかた」をご覧ください。(6ページ)) |
| | 沸とう直後ではありませんか? | 沸とう後数分間はお湯が出にくくなることがあります。 |
| お湯が出ない。（「沸とうランプ」「保温ランプ」が点灯しない。） | 水位が給水目盛以下、または給水目盛付近になっていませんか? | 給水目盛付近まで水位が下がると安全装置が働き、ランプがすべて消えることがあります。<br>水をつぎ足してしばらくすると使用できるようになります。 |
| お湯が自然に出る。 | 満水目盛以上の水を入れていませんか? | 水を満水目盛以下に減らしてください。 |
| ポットのお湯が臭う。 | 初めて使うとき、しばらく使っていなかったときは樹脂などのにおいがすることがあります。 | ご使用に伴いなくなります。 |
| | 水道水に含まれる消毒用塩素（カルキ臭）により、沸かしたお湯が臭うことがあります。 | お手入れをしてください。(「お手入れのしかた」をご覧ください。(6ページ)) |
| 内容器が汚れている。お湯に白い物が浮く。 | 内容器についた湯あかがはがれたもので、内容器の腐食ではありません。ミネラル分の多い水、特にミネラルウォーターなどを使用すると結晶になって現れることがあります。 | クエン酸で内容器のお手入れをしてください。(「お手入れのしかた」をご覧ください。(6ページ)) |
| 湯沸かし中に音がする。 | 湯沸かし中に泡がはじける音で故障ではありません。 | ポットが汚れていると音が大きくなります。クエン酸で内容器をお手入れしてください。(「お手入れのしかた」をご覧ください。(6ページ)) |
| 本体が熱くなる。 | 湯温や室温が高い場合は本体外側が約50℃になります。 | 異常ではありません。そのままお使いください。 |
| フタを開閉するとき「カチカチ」と音がする。 | 万一転倒した場合、湯の流出を防止するための弁の音です。 | 異常ではありません。そのままお使いください。 |



# アフターサービス

## 1.保証書

- 裏表紙に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

## 2.保証期間

お買い上げ日から1年間です。

## 3.修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、直らないときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または当社「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

- 保証期間中の修理
  保証書の規定により無料修理します。
  商品に保証書を添えてお買い上げの販売店か当社「お客様サービス係」までお申し出ください。
- 保証期間がすぎている修理
  修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店か当社「お客様サービス係」にご相談ください。

## 4.補修用性能部品の最低保有期間

- この電動給湯ポットの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後5年です。
- 性能部品とはその商品の機能を維持するために必要な部品です。

## 5.アフターサービスについてご不明の場合

当社「お客様サービス係」にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

| | |
|---|---|
| 技術料 | 故障した商品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。 |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。 |


お客様サービス係
(フリーダイヤル) 0120－337－455
FAX (0256) 93－1077
お電話承り時間: 平日（月曜～金曜）午前9時～午後5時
〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2


**お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。**

# 仕様

| | |
|---|---|
| 型名 | TP－4491 |
| 容量 | 2.2L |
| 定格電圧 | AC100V 50-60Hz |
| 定格消費電力(約) | 650W(湯わかし時) ／40W(保温時) |
| 保温温度(約) | 90～99℃ |
| コードの長さ(約) | 1.4m（マグネットプラグ付） |
| 外形寸法(約) | 幅215×奥行290×高さ265mm |

＊特定地域（高い山・厳寒地）においては、所定の性能が確保できないことがあります。
こうした場所での使用はなるべくお避けください。